

また一つまちの歴史が消えていきます

旧沼田貯蓄銀行が街なかへ

西倉内町にあった将軍地蔵雨宝殿（市指定文化財）は、平成7年に西倉内町から下川田町へ移築されました。今度は材木町にある旧沼田貯蓄銀行（県指定文化財）が街なかへ移築されることになり、H23年度は予備調査費が計上されています。本町通り北側にあった生方記念文庫は、昨年建物が壊されましたが、本町通り南側に移転します。東日本で最も古い町屋造りの建築物といわれている国重要文化財の「生方家住宅」も昭和48年に上之町から沼田公園内に移築されています。建築物は建てられた場所に歴史的な意義もあり、それが沼田の歴史を形取っているのではないのでしょうか。沼田市のやり方は、残念でなりません。

住宅リフォーム助成制度の実施を要求

井之川博幸議員は、3月議会一般質問で星野沼田市長に対し、「地域経済活性化対策として、中小業者団体のみなさんが10年以上も前から全国規模で各自治体に要望してきた『住宅リフォーム助成制度』が、いま全国で注目を浴びています。特に岩手県の宮古市の制度は、住民の申し込みが殺到し、昨年の4月から今年の1月の10ヶ月で2,700件の申し込みがあり、総額12億円のリフォーム工事が市内全域で実施され、経済波及効果も大きく地域経済が大いに活性化されているとの報告が行なわれています。」述べ、本市における「住宅リフォーム助成制度」の実施について要求しました。

市長は、「県内他の市町が実施する状況を調査するとともに、今後も研究を進める」と答えました。

義務教育国庫負担の堅持と負担割合の復元請願は採択に

3月議会に群馬県教職員組合（真下治之執行委員長）から提出されていた「義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国負担割合を2分に1に復元することを求める意見書の採択に関する請願」は、全会一致で採択され、国に意見書が提出されました。

T P P 参加の前提か…米戸別所得補償政策

良質米生産地では矛盾拡大

民主党政府の農業戸別所得補償制度（米は10a当たり1万5千円）が、今年度から畑作にも拡大し、本格実施されます。沼田市は米の生産においては昼夜の寒暖差が大きく、うまい米が生産されています。一俵（60kg）当たり2万円前後と全国平均よりも6～8千円ほど高い価格で売れるようです。

良質米は人気も高く消費者に直販もできるので、転作に参加が条件になっている「米戸別所得補償制度」では、いままでの制度とさほど変わらないようです。それどころかT P P 参加をにらみ、現在の一律10a 1万5千円の制度を大型農家中心に改変する計画もあります。

愛護動物(犬・猫)を大切にするための 施策の充実に背を向ける市議会

3月沼田市議会には、愛護動物の不妊・去勢手術への助成や動物のための火葬場の設置などを求める「愛護動物に関する請願書」が「利根沼田捨て猫捨て犬をなくす会」（飯塚貢代表）から提出されていましたが、3月18日に開催された民生福祉常任委員会で審査され、請願項目3項目の内、1項目だけの一部採択となりました。審査のなかで、井之川博幸委員は、市内の野良猫の世話をやくボランティア団体などが自費を出し合って、不妊・去勢手術などを行なっていることなどを示し、採択を主張しました。委員会審査の採決では、採択が3人、趣旨採択が1人、一部採択が3人と同数になり、委員長裁決で一部採択となりました。

本会議では、3人の議員が全項目の採択を主張し、一部採択に反対しました。

採択された内容の要旨は、「動物の愛護及び管理に関する法律の周知や広報の強化」です。

不採択にされた内容の要旨は、「愛護動物の不妊・去勢手術への助成の実施」と「動物のための火葬場の設置」です。

2011年4月10日 No.556

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料